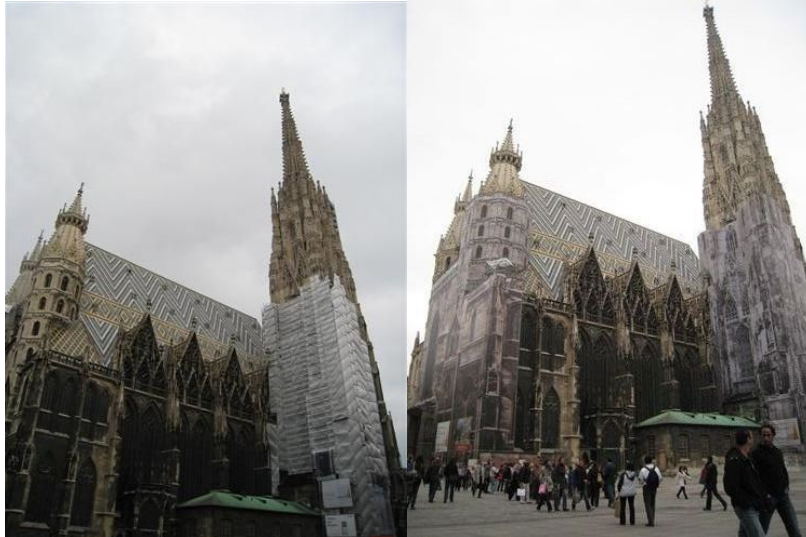


日本発ウィーン便り: Musikstadt Wien (音楽の街ウィーン)

1年ぶりにウィーンに行ってきました。1年もウィーンに行かなかったのは、なんと10年ぶりくらい……。1年もたつと、路面電車の路線は変わっているし、お店も変わっているし、ちょっと「浦島太郎」になった気分。☺



去年の同じ時期、大工事中だったシュテファン大聖堂(左)はきれいに完成! のように見えますが(右)



よく見ると、塔の下半分と正面部分は外観そっくりな布? というか覆いがかかっていた。工事中でも景観を損なわないように配慮でしょうか? 一瞬なら確かに見分けが付きませんね。

今回は本当に久々にオペラのチケットが取れました。(これも奇跡の1枚でした。)
実はウィーン到着の日に、もう1公演見たかったのですが、こちらのチケットは瞬間に売り切れ。
今シーズンの目玉中の目玉みたいな公演だったので、無理もないのですが・・・。
晩御飯を食べていて、急に思いついたことがあって、オペラ座前に急いで行きました。
ちょうどあれは3年前。超人気の公演を外でライブの音が聞けたのにえらく感動したのを思い出したのです。



やっていました！なんと！ありえないことに、音だけではなく、ライブ映像まで！！すごいパワーアップです！
Wiener Staatsoper für alle (みんなのためのウィーン国立歌劇場)
この日も天気が悪くなくて、雨が降ったり止んだり、肌寒い日でしたが、熱中して、しっかり終演まで一生懸命見てしまいました。途中の休憩中には次の公演の予告があったり、スポンサーのコマーシャルがあったり。
(この間にみんな飲み物を買いにいったりします)



椅子持参の人もありましたよ。ライブ映像も定点観測ではなく、アップ映像もあるし、
いろんな角度から見せてくれて(たとえば、幕が下りたあとの舞台の様子とか)面白かったです。
見え方に関しては劇場の中で見るより面白いかもしれません。
しかも字幕付き！(ドイツ語です)
交通量の多い場所ではあるので、時々車の音に邪魔されることもあります、
そんなことは何の問題でもないでしょう？何しろ、ゼーンぶ無料なんでもん！

ちなみにこの日の演目はビゼーの「カルメン」でした。



なんと今月と来月で、これだけのオペラとバレエの公演が外でライブで鑑賞できます。(全部見たい！)

休憩の合間に、オペラ座支配人さんのメッセージがテキストでドイツ語・英語で流れました。ざっと訳すと、

このライブ中継には時間通りに来る必要もないし、ドレスを着る必要もありません。

ベビーカーを押して、または犬の散歩の途中でもかまいません。

食べながら、飲みながら、タバコを吸いながら見てもかまいません。

バレエやオペラの公演をライブで見てみて、なかなか面白いな、と思ったら、今度はバレエやオペラを見たこと無い、興味ないって言っている友達を連れてきてみてください。

そして、また見てみたいと思ったら、今度は一度劇場の中で見てみてください。

もっともっと楽しめますよ。私が保証します。

というメッセージでした。いいですねえ。

やっぱり音楽の街ウィーンでもクラシックは敷居が高くなっているのでしょうか。

でも興味をもってもらうには一番いい方法かもしれませんね。



ちなみにこのオペラ座前の広場、「カラヤン広場」といいます。

オペラやバレエ、ちょっと見てみたい！という人にもオススメです。

(もちろん、劇場の中で聞くのは、独特の雰囲気と緊張感が伴ってまったく別物ではありますが・・・)

本当に羨ましい、音楽の街ウィーンでした。(劇場の中はまたそのうちに)